

# かけはし



第226号 平成27年(2015年) 12月1日(火曜日) 編集発行 宝塚市議会



宝塚歌劇団 花組 水美舞斗さん、城妃美伶さん(宝塚ゆめ広場・宝塚歌劇モニュメント完成除幕式にて)

## 9月定例会の主な審議

平成27年度 宝塚市一般会計補正予算を可決

平成26年度 宝塚市病院・水道・下水道事業決算を認定

## 第2回意見交換会は盛況!!

昨年引き続き2回目となりました意見交換会を、8月30日に開催いたしました。多数ご参加いただき、ありがとうございます。ご意見を報告します。

今回は、議員が2グループに分かれ、それぞれ2つのテーマについて、公募でご参加いただいた市民の皆さまと意見交換を行いました。

参加者  
市民発言者 14人  
上西嘉郎さん  
岡田玉造さん  
片山正男さん  
上林三郎さん  
久保田雅智代さん  
篠塚秀隆さん  
島川信子さん  
島川正行さん  
土井 浩さん  
徳田友子さん  
長原 正さん  
三塚弘幸さん  
村越裕一さん  
山本敏晴さん  
(50音順)  
傍聴者 42人  
市議会議員 26人

**○まちの活性化について**  
市民 少子高齢化が進む北部地域の活性化として、全国の災害の被災者に来てもらってはどうか。また、市街地の活性化として、西谷地域に建設中のスマートインターチェンジを活用して企業誘致できないか。  
議員 西谷地域は人口減少が進んでいる。農業の法人化に委ねるとよいと考える。  
市民 財政の健全化に向けて考えていかないとけない。企業誘致して法人税を増やす方法を考えてほしい。

**市民** 山手に住んでいるが高齢化が進んでいる。バス停まで遠く、買い物に行く手段もない。高齢者が駅の近くに住み、子育て世帯が山手に住むシステムをつかってほしい。  
議員 若年層が山手に、年配層は駅前に住めるよう、借りた情報と貸したい情報を交換できる仕組みが必要。民間と自治会の連携が求められる。  
議員 住宅マスタープランが機能していない。  
市民 議員は多くの情報を持っている。自治会に来て話をし、仕組みづくりの研究をしてほしい。



**市民** 宝塚観光花火大会が、ここ数年で影が薄くなった。開催日も土日ではなく平日に変更され、家族で見に行けない。他市が開催しない冬の時期に開催してほしい。  
議員 マンションが建ち、今後は今の場所での開催が困難。冬の開催はかなり珍しいが、気候の安定した夏に開催してきた歴史もある。  
市民 花火を上げるための寄附を集め、PRをしてほしい。  
市民 宝塚市に住んで30年。住み心地が大きく変わった。宝塚歌劇のブランドで宝塚市に住んだ人は多いが、市の不祥事等で、他市との格

差は広がっている。いつまでも国際観光都市と言っていないで身の丈にあった宝塚をめざすべきではないか。財政健全化を進めてほしい。  
議員 当面人口が減らないという推計があり、行政側の危機感不足も理由の一つ。財政健全化のペースがまだできていない。観光客数は800万人であり、経済効果を引き出す必要がある。  
市民 宝塚市の状況は厳しい。悪い情報も表に出して市民に協力を求めるべき。

**○安全安心のまちづくりについて**  
市民 ラ・ビスタに住んでいる。以前の碎石場の爆破音や自衛隊訓練の騒音はなくなったが、採石跡地は阪神淡路大震災の際、ごみの野焼き場所となった。ラ・ビスタ周辺に新ごみ処理

施設の建設を計画しているとのこと。安全安心のまちづくりや公害防止条例はどうなったのか。  
議員 新ごみ処理施設の候補地については白紙の状態。採石跡地は、民間の所有地であり、詳しい状況はわからないが、市も話を聞いている状態。  
市民 住民への説明もなく5トン弱のごみを燃やした。近くに浄水場もあり不安。すみれが丘のダイオキシン濃度を調査してほしい。

**市民** 定年後9年かけて自転車世界を回った。日本は自転車の走り方がめちゃくちゃで危ないので、国内で自転車は乗っていない。住まいの近くでも自転車は危険。高齢者の事故が増えている。伊丹市は自転車行進が進行しているが、議員 道路交通法が改正さ

**○社会保障について**  
市民 これからの老人医療は健康づくり。予防医療で病気になるないようにしなければならぬ。そのためには地域づくりが重要。その役目を議員が担っていると思うが、地域の責任者からは、議員は来てくれない

と聞く。地域に出て行って市政に反映させてほしい。議員に「頑張って」と言われるだけでも元気が出る。議員 議員が現場に行って話を聞くことは大切。そうでないと活動が市政に生かされない。高齢者に元気で頑張ってもらうために、宝塚

市はエイジフレンドリーテイに取り組んでいる。  
市民 議員も忙しいと思うが、行動がないといけない。お互い意見を交換し、知恵を出し合おう。  
市民 平成27年度の介護保険料を見てびっくり。なんと20%も増額。高齢化社会のため仕方がないが、年金から引かれると大変厳しい。  
議員 介護サービスを充実させれば負担が増えるのは、制度の欠陥だと思う。社会保障制度に変わるべきと訴えてきた。職員の確保には、労働条件の改善が必要。



ゴールドプラン21宝塚は介護保険の仕組みを分かりやすく説明しているが、150ページあり、読んで理解するのは大変。市民に分かりやすく説明してほしい。  
議員 制度維持のため値上げに反対はできなかったが、負担と受益のバランスを考

えないといけない。  
議員 徘徊対応や配食サービスは多くの予算が必要で、事業計画は3年ごとの見直しのため、今回介護保険料の引き上げになったと思う。  
議員 介護サービスを充実させれば負担が増えるのは、制度の欠陥だと思う。社会保障制度に変わるべきと訴えてきた。職員の確保には、労働条件の改善が必要。

**○子育て・教育について**  
市民 2歳の子どもに発達障がある。相談したいが、宝塚市には専門の病院がない。子ども発達支援センター入所のため、2月に専門医を受診したが、受給者証の交付が4カ月後になるため、4月に入所できなかった。2〜3歳が脳の発達に大切な時期。早期発見、早期対応のため、専門医の増員などを検討してほしい。  
議員 全国的に専門医は少なく、宝塚市にはないことを実感している。しかし、宝塚市内にも窓口はある。逆瀬川にある県のプラランチや明石市の県支援センターには行ってみたいか。  
市民 県のプラランチはいつまで待ちの状態。明石市には遠くで行けない。総合福祉センターでの相談の回数だけでも増やしてほしい。

**市民** いじめを苦にした自殺の新聞報道を見て、実際にこんなことがあるのかと思った。平成25年にいじめ防止対策推進法ができ、半年ごとのチェックを行うようになっていっているが、履行されていない。子どものSO Sになぜ気づかないのか。  
議員 2学期の初めに自殺するケースが多い。子どもたちの命を守るために、学校と地域が協力して子どもを見守っていくことが大切。スクールソーシャルワーカーの配置も進めていく。  
議員 家庭、学校、地域が連携し、地域で子どもを育てる環境が必要。学校は閉鎖的になりがち、教師は常にアンテナを張ってほしい。

**市民** 本年度から子ども・子育て支援新制度が始まり、児童保育は6年生まで受け入れることとなった。宝塚市が4年生までしか受け入

## 第3回意見交換会開催!!

市民発言者募集中です

第1回、第2回と参加された皆さまからいただいたご意見をもとに、開催方法を一部変更しています。今回は、議員が3グループに分かれ、3つのテーマで意見交換を行います。皆さまのご応募・ご参加をお待ちしています。

**開催日時とテーマ**  
※テーマにより開催時間が異なりますので、ご注意ください。  
第1部 午前10時から  
第2部 午後1時から  
第3部 午後2時45分から

**◆市民発言者を募集**  
各テーマについて、議員と意見を交換したい市民発言者を募集します。  
●応募資格  
市内に在住・在勤または在学中で18歳以上の方  
●募集人数  
テーマごとに10名程度(応募多数の場合は抽選)  
※幅広いご意見をいただくため、年齢・性別などに偏りがないように配慮させていただきます。場合によっては、

●申込方法  
発言申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、電子メールまたは持参によりお申し込みください。  
申込書は、市議会事務局、サービスセンター、サービ

●開催場所  
男女共同参画センター 学習交流室1 A・B

●申込期限  
平成28年1月12日(火)必着

●お問い合わせ・申し込み  
議会事務局議事調査課 (市庁舎 3階)  
TEL 0797-7712168  
FAX 0797-7416902  
E-Mail m.takarazuka0178@city.takarazuka.hyogo.jp

# 9月定例会の議案審議から

9月定例会では、市長から提案された議案や、市民の皆さまから提出された請願など計79件について審議しました。ここでは、主な議案審議の概要を報告します。

なお、提案された議案のうち宝塚市総合計画の基本計画を定めることについて並びに平成26年度宝塚市一般会計及び特別会計の決算認定については、慎重審議を行うため、閉会中も継続して審議することとしましたので、次号(2月1日発行)で報告します。

## 平成27年度宝塚市一般会計補正予算(第2号)

全員一致  
可決

**概要** <sup>さいにゅうさいしゅつよさん</sup>歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億7,040万円増額し、補正後の歳入歳出予算の総額をそれぞれ737億9,872万6千円とするもの。

(歳入)国庫支出金では小学校施設に係る学校施設環境改善交付金を、県支出金では河川環境整備事業に係る美化事業委託金を、繰入金における<sup>ざいせいちょうせいきん</sup>財政調整基金とりくずしをそれぞれ増額し、<sup>くりこしめいきよひ</sup>繰越明許費及び<sup>さいむ ふたんこうい</sup>債務負担行為、<sup>ちほうさい</sup>地方債の補正などを行うもの。

(歳出)<sup>けんりょうごしえんじぎょう</sup>権利擁護支援事業、<sup>じっぴちようしゅうほそくきゅうふじぎょう</sup>実費徴収補足給付事業、道路維持事業、小学校施設管理事業、過年度精算に係る国庫補助金等返還金をそれぞれ増額するもの。

**主な質疑** 長尾中学校屋内運動場改築事業については、屋内運動場の床面積や取得予定の建設用地の面積、今後の事業計画についてなどの質疑がありました。また当初、事業計画の全体像が示されておらず、説明不足ではないかとの指摘があり、今後改めるとの答弁がありました。ふるさと納税については、記念品リニューアルの内容と新たな品目についてなどの質疑がありました。今回のリニューアルにより、宝塚歌劇の観劇チケットを年2回から3回に増やすとともに、モノ・コト・バ宝塚の中からつりしのぶ、宝塚のお米、洋菓子の詰め合わせなど24品目、宝塚ゆかりのマンガ家・手塚治虫の作品(全4セット)を用意したとのことでした。

そのほか、<sup>しゃかいほしょう</sup>社会保障・<sup>ぜいばんこう</sup>税番号制度(マイナンバー制度)を利用して健康管理システムを運用していく場合の運用規定について、市営住宅管理事業における指定管理料の減額について、指定管理者の業務体制についてなどの質疑がありました。



リニューアルされた  
ふるさと納税記念品

全員一致  
認定

## 平成26年度宝塚市病院事業会計決算

**概要** (収益的収支) 収入総額115億5,796万1,505円、支出総額108億4,142万7,344円、差し引き 7 億1,653万4,161円の黒字となりました。また、消費税等に伴う経理処理をした結果、当年度の純利益は 7 億1,520万4,847円となり、前年度の純損失 3 億8,036万8,101円と比べ10億9,557万2,948円改善しました。

(資本的収支) 収入総額 6 億 3 万6,791円、支出総額 15億8,522万2,342円、差し引き 9 億8,518万5,551円の資金不足が生じましたが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金、長期借入金で補てんしました。

**主な質疑** 委員会では宝塚市立病院中期事業計画2014の進捗と今後の病院経営を論点に審査が進められました。未収金対策、原価計算方法の導入、医師や看護師の確保策、医師の退職による収益への影響及び経営面の体制強化について、並びに今後の周産期医療の方向性及び中期事業計画後の改革プランについてなどの質疑がありました。

いずれも

全員一致  
可決

## 地域利用施設・共同利用施設等の指定管理者を指定

**概要** 宝塚市では、多くの公の施設の管理について民間の活力を活用しつつ、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的として指定管理者制度を導入しています。

今回、指定期間が平成28年 3 月31日で満了となる34施設の指定管理者を指定するものです。指定管理期間はいずれも平成33年 3 月31日までの 5 年間です。

施設名	指定管理者となる者
宝塚市立中山台コミュニティセンター	中山台コミュニティ
宝塚市立地域利用施設	美座会館 美座会館管理運営委員会
	光明会館 光明会館管理運営委員会
	雲雀丘倶楽部 公の施設のよりよい管理運営をめざす市民の会・宝塚
	南口会館 特定非営利活動法人シニアパワーを活かす会
	御殿山会館 御殿山会館管理運営委員会
宝塚市立未成集会所	高松町自治会
宝塚市立共同利用施設	末成町自治会
	長尾南会館 丸橋自治会
	安倉会館 安倉自治会
	小浜会館 小浜自治会
	福井会館 福井・亀井自治会
	小林会館 小林会館運営委員会
	鹿塩会館 鹿塩自治会
	中筋会館 中筋会館運営委員会
高司会館 高司会館管理運営委員会	

施設名	指定管理者となる者
宝塚市立共同利用施設	中山寺会館 中山寺自治会
	美幸会館 美幸町自治会
	山本台会館 山本台自治会
	売布会館 売布北自治会
	川面会館 川面会館管理委員会
	松ガ丘会館 松ガ丘会館運営委員会
	泉町会館 泉町会館運営委員会
	旭町会館 旭町会館運営委員会
	仁川会館 仁川会館運営委員会
	伊子志会館 伊子志会館運営委員会
	御所の前会館 御所の前町自治会
	米谷会館 米谷会館運営委員会
	亀井会館 福井・亀井自治会
	安倉西会館 安倉西会館運営委員会
山本野里会館 宝塚市丸橋財産管理組合	
山本会館 山本自治会	
宝塚市立西谷児童館	特定非営利活動法人宝塚N I S I T A N I
宝塚市立地域利用施設西谷会館	

## 平成26年度宝塚市水道事業会計・下水道事業会計決算

**水道事業の概要** 収益的収支は、仮受仮払消費税を含む決算額で収入総額46億7,640万5,926円、支出総額63億3,513万3,738円、差し引き16億5,872万7,812円の赤字で、当年度の純損失は17億2,057万5,466円。資本的収支は、収入総額13億5,095万6,868円、支出総額37億1,047万9,068円、差し引き23億5,952万2,200円の資金不足が生じましたが、損益勘定留保資金、当年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。

**主な質疑** 平成32年度までの経営予測では毎年2億円以上の赤字が続く予測となっており、今後収益が上がる理由はなく、いずれは値上げとなるのか確認したところ、現在、平成28年度からの10年間の経営戦略を策定しており、費用削減を中心とした経営改善策や資産の有効活用に取り組み安定的な経営をめざしたい。料金は、早々に引き上げの状況ではないとのことでした。また、平成30年度の阪神水道企業団からの計画水量全量受水開始に伴い廃止予定となっている小林、亀井両浄水場の用地活用については、具体的な詳細が決まっておらず、できるだけ早く方向性を出したいとのことでした。



廃止予定の小林・亀井浄水場

**下水道事業の概要** 収益的収支は、仮受仮払消費税を含む決算額で収入総額43億9,197万5,996円、支出総額46億8,787万6,093円、差し引き2億9,590万97円の赤字で、当年度の純損失は2億9,290万4,749円。資本的収支は、収入総額14億4,625万5,310円、支出総額31億1,564万1,657円、差し引き16億6,938万6,347円の資金不足が生じましたが、損益勘定留保資金、当年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。

**主な質疑** 赤字化が進み経営状況が悪化しているが、下水道使用料の値上げと一般会計からの繰り入れについての考え方を確認したところ、上下水道事業審議会の答申では、使用料の引き上げはやむをえないが、まずは経営努力を、また繰り入れの増額を検討する必要があるとの内容であり、そのことを踏まえ現在協議している段階にあり、遅くとも今年度中には一定の方向性を出したいと考えているとのことでした。

# 賛否が全員一致した議案等

平成27年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第2号)	可 決
平成27年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算(第2号)	
宝塚市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
宝塚市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
宝塚市建築審査会条例の一部を改正する条例の制定について	
執行機関の附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
町の変更に付いて	
市道路線の認定について(6件)	
平成26年度宝塚市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
平成26年度宝塚市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
宝塚市自治功労者の認定について	認 定
宝塚市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	適 任
宝塚市選挙管理委員選挙について	選 挙 執 行 (指名推薦)
宝塚市選挙管理委員補充員選挙について	

## 請願・陳情

9月定例会では、3件の請願と1件の陳情が提出されました。採択された請願の概要は次のとおりです。なお、「所得税法第56条の廃止を求める意見書」についての請願は、賛成少数で不採択となりました。

また、大河内市議に9月市議会で正式に誠実な謝罪を求める陳情は、議会運営委員会で審査されましたが、結論を得ずとなりました。

### 教育条件整備のための請願(概要)

宝塚市では、宝塚市教育推進プロジェクトを中心に、いじめ、不登校、学級崩壊などの解決に取り組んでいるが、そのほかにさまざまな課題もあり、これらの教育課題克服のため教育予算の一層の充実と保護者負担の軽減等の制度拡充の早期実現を求める。(採択・全員一致)

### 職員の政治的行為の制限に関する条例の制定についての請願(概要)

市職員による政治活動や選挙活動が行われた場合、市政に正しく市民の意思が反映されないこととなり、正常な民主主義が実現されず、市民の人権を侵害することになる。憲法上は国家公務員同様に禁止されている地方公務員の政治活動についての罰則事項はなく、著しく憲法の精神にも反している。憲法を遵守、市民の人権保護の観点より、宝塚市において、職員の政治的行為の制限に関する条例の制定を求める。(採択・賛成多数)

◆賛否が分かれた請願の各議員の賛否 (賛成=○反対=×)

案件名	新風改革・維新の会					自民党議員団			公明党議員団			日本共産党宝塚市会議員団		ともに生きる市民の会		市民ネット宝塚		安全で誇れる宝塚をつくる会								
	伊藤 順一	浅谷 重紀	岩佐 将志	大川 裕之	たけした正彦	若江まさし	山本 敬子	伊福 義治	大河内茂太	富川晃太郎	江原 和明	中野 正	藤岡 和枝	三宅 浩二	たぶち静子	田中 こう	となき正勝		みとみ稔之	井上 聖	大島淡紅子	梶川みさお	寺本 早苗	石倉加代子	北野 聡子	北山 照昭
「所得税法第56条の廃止を求める意見書」についての請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長	○	×	×	×
職員の政治的行為の制限に関する条例の制定についての請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※過半数議決の場合、議員には賛成・反対の表決権がありますが、議長には表決権がありません。ただし、表決において賛成・反対が同数、つまり「可否同数」になった場合、議長には可決か否決かを決定する裁決権が認められています。



意見書名	送付先
ICT活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、地方創生担当大臣
地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、地方創生担当大臣

## 意見書

9月定例会では2件の意見書を全員一致で可決し、関係機関へ送付しました。



### 地球温暖化対策の推進を

日本共産党  
宝塚市議員 ひとみ 稔之

#### 【地球温暖化対策】

問 市の地球温暖化対策の目標達成への評価は。

答 再生可能エネルギーの導入推進などを、市民や事業者、行政などが一体となって積極的に実践し、持続可能なまちを実現したい。

問 太陽光発電導入の効果は高い。その促進策は。

答 固定価格買取制度の単価は下がったが、電力を各家庭で賄えるメリットな

どがある。適切な情報提供により導入につなげたい。

問 公共施設における照明器具LED化の進捗は。

答 市庁舎では市民ホールやトイレ照明のLED化を進める。今後も費用対効果を検証し取り組みたい。

問 窓を断熱ガラスにすれば省エネ効果があるが。

答 現時点では市庁舎の断熱化には着手していない。

問 既存のガラスにフィルムを張る方法もあるが。今後には検討していく。

答 今後の検討状況は。問 本市の設置状況は。

答 公共施設やスーパー、駅など393施設に設置。また24時間営業のコンビニ30店舗に、店員がAEDを手渡す24hまちかどAEDステーションを設置。

問 機器の普及とともに、AEDをさせる人を増やす取り組みが大事では。

答 一般の救急講習のほか、小中学校の授業で救命短時間プログラムを実施。多くの方々に広めたい。



### 債権回収一元化の推進を

自民党議員 山本 敬子

#### 【徴収事務の効率化】

問 債権回収課を設置し、保育料等の徴収も一元化する市もある。本市でも債権回収課を設置し、一元化に取り組み考えはないか。

答 市税と国民健康保険税は平成21年に一元化を実施。それ以外の債権は、守秘義務や根拠法令の違いなどの課題もある。他市の事例も参考に、債権管理の効率化と納税者の生活への配慮の両面から検討しなければならぬ。

問 市広報8月号に市長の安保法案反対の記事が掲載され、市民から苦情を聞いている。23万市民の代表として公平性に欠けないか。

答 市民に向け市長が政治家として責任を持ち、政策目標であるまちづくりへの考え方や重点政策を表明することは公平性に欠けるものではないと考えている。意見 法案に賛成の市民は非常に多いという認識を、市長は持つて頂きたい。

#### 【地区防災計画】

問 本市の一地区が国のモデル地区に選定され、各地域で策定機運が高まる一方、策定方法に悩む地域も多い。取り組みの進捗は。

答 3月に地区防災計画作成マニュアルを作成し、自治会連合会等に計画の趣旨や制度概要の説明を実施。難解な制度を精一杯説明し、地域が作る計画であることを理解頂いている。



### 子どもの自殺をゼロに

日本共産党  
宝塚市議員 田中 こう

#### 【いのちとくらしを守る】

問 子どもの自殺は夏休み明けに集中し、9月1日が突出。学校に行くのが辛く追い詰められた子どもの気持ちに胸が痛む。自殺防止にどう取り組むのか。

答 欠席がちなど気になる子どもへの家庭訪問、補習学習や電話連絡などを通して、子どもとの関係づくり

に努めている。学年当初にはこころとからだのアンケートを実施。以降は義務教育年

間を実施し、担任が全ての子どもに面接。危機意識を持ち、学校が子どものサインを見逃さず、一人ひとりの子どもとつながることができる取り組みを進める。

問 19歳以下の自殺者は2010年以降毎年1人から3人。何とかゼロにと願うが、その対応は。

答 2011年度から小中学校で早期に心理教育等を実施。以降は義務教育年

#### 【マイナンバー制度の危険】

問 行政は国民の所得や社会保障給付などを効率よく把握できるが、マイナンバーが一たび外部に漏れれば個人のプライバシーが侵害される危険性は飛躍的に拡大。国民理解が広がらない制度の実施は中止すべき。

答 各行政機関の個人情報を一元的に管理するものではない。システム面、制度面でも情報保護を徹底し、安全な運用措置を講じる。



### 防災ラジオの普及促進を

安全で誇れる宝塚をつくる会  
細川 知子

#### 【住民自治組織のあり方に関する調査専門委員報告】

問 市民協働のあり方を見直す基礎となるこの委員の報告は地域の大きな関心事。今回補正予算に委員報酬が計上されたことから、調査が長引き次年度に持ち越されるのではと危惧する。

答 本年9月を目途に報告を受ける予定であったが、丁寧かつ慎重な審議で会議が増が見込まれるため補正予

算を計上した。遅くとも年度内には報告を受ける予定。市は報告内容を尊重し、住民自治組織と十分に意見交換しつつ取り組みを進める。

#### 【防災直後の危機管理】

問 防災ラジオは災害時に行政と市民を繋ぐ重要なツール。市は自治会長等に貸与しているが、難聴エリア等の現状を調査しているか。

答 昨年度、北部難聴エリアを調査し、受信できな

いラジオは感度のよいものと交換した。今後全市民的に受信できているか確認する。意見 補助等を実施し、災害時要援護者等へ普及を。問 防災直後に届出避難所の建物の危険度判定を優先的にできないか。

答 連絡があれば、応急判定を行うことは可能。問 防災直後の地域からの問い合わせへの対応は。

答 連絡窓口として、市内7ブロックごとに現地連絡所を設置。市と双方方向に通信できる移動系防災無線の配備の検討を進めている。



## のびのび育つ教育環境を

日本共産党  
宝塚市議員団 たぶち静子

### 【西谷の防災行政無線整備】

問 現在の取り組みは。

答 拡声器を13カ所設置する設計。地形の関係で、戸別受信装置も検討する。

意見 全世帯戸別受信装置設置の方が有効。地域の要望に合った設置方法で。

### 【武田尾駅のバリアフリー】

問 高齢者や障がい者、ベビーカー利用者等にも階段はつらい。市内で駅舎がバリアフリー化されていない

答 耐震化事業が本年度

い最後の1駅であり、地域活性のためにも早期実現を。答 実現に向け問題意識をもつて、JR西日本(株)に要望していきたい。

### 【学校の環境整備】

問 子どもは長い時間を学校で過ごす。健康面や衛生面からも、また地域の避難所としての役割からも、洋式や多目的トイレ整備等、早期の改善、老朽改修を。

答 耐震化事業が本年度

完了見込みであり、今後は改修の必要性を総合的に判断し、老朽化が進んでいる学校から順次洋式や多目的トイレ等整備、改善したい。

問 教職員の超過勤務は深刻な問題で一刻も早く解決すべき。本市での改善は。

答 児童・生徒に向き合う時間の確保と教員の健康維持に向け校務のIT化等多忙解消に努めているが、なかなか改善できていない。

意見 少人数学級の実施のためにも多忙解消は必要。教員の目が児童一人一人により行き届く環境整備を。

## 小林駅周辺の早期改善を

ともに生きる市民の会 梶川みさお

### 【小林駅周辺の環境整備】

問 駐輪場の出入口から駅までの道路は歩道がない上、交通量が多く非常に危険なため、早期に整備が必要。また、駐輪場利用者の安全と利便性から駐輪場側に改札口を設置できないか。

答 駐輪場から駅へ向かう歩行者動線確保は、現在進めている小林駅周辺の環境整備事業に係る地元関係団体との議論の中で検討し

ており、整備のあり方については今後具体化していく。

問 駅前が車が進入しにくい。ロータリー広場や周辺道路等の整備が必要では。

答 駅前ロータリーの整備や危険交差点の改良を含む道路整備等を求める地元構想案の課題を整理し、短期と中期の取り組みに分けて具体化を検討していく。

### 【宝塚市の防災】

問 ゲリラ豪雨に対する

武庫川等の安全対策は。

策、貯留施設整備等の河川対策、避難のための啓発や情報提供体制の整備等の減災対策を3本柱に県、市及び市民が協力して取り組む。

問 災害対策拠点となる危機管理センターが2017年度に完成予定。職員体制の充実が必要と考えるが。

答 組織体制と資機材の整備は重要課題。センター建設にあわせて充実を検討。

意見 他市に比べ、本市は防災担当の職員が非常に少ない。職員体制の充実を。



## 小中一貫校の取り組みを

公明党議員団 江原 和明

### 【宝塚市の将来像】

問 将来像を描くには人口を含めた長期ビジョンが必要。将来人口の設定は。

答 国の研究所の推計では2060年で16万8千人だが20万人を維持したい。

問 本市の定住人口は川西市へ転出傾向にあるが。

答 川西市には親子の近隣居住を奨める助成制度がある。その効果を研究する。

問 観光入込客数は年間

約80万人だが、2時間以上滞留する方は少なく、平日では県下で37位だが。

答 滞在人口や時間、観光消費額など実質的效果を測定できる指標を考えたい。

意見 シティプロモーションは計画策定が目標でない。市民福祉やサービスの向上がなければ意味がない。

【市民サービスの向上】

問 市庁舎を月に1〜2回、土日に開庁できないか。

答 各種証明業務はコンビニ交付を促進するが、開庁の必要性を見極めて検討。

【教育行政】

問 学校教育法が改正され、小中一貫教育を実施する義務教育学校の制度が創設された。市教委の見解は。

答 小中一貫教育に取り組みことは肝要である。学校関係者、保護者、地域住民が、学校づくりの方向性や方針を共有し、理解と協力を得ながら進めることが重要。研究を進めていく。

意見 新教育長の下、危機感を持ち導入の検討を。

## 新しい公共に民間活力を

新風改革・維新の会 伊藤 順一

### 【宝塚ブランド】

問 宝塚歌劇、清荒神、中山寺、手塚治虫記念館などの観光資源がある本市は、地域ブランドの面では非常に恵まれている。そのほかにも市内にある10カ所のゴルフ場や阪神競馬場など活用の余地があるのでは。

答 大変重要な観光施設と認識。JRAやゴルフ場と協議し、本市の魅力発信の資源として活用したい。

### 【財政見通しの公表】

問 本市の財政状況は非常に厳しい。本格的に公共施設等総合管理計画を進めるためには市民の理解が必要。公表している財政見通しでは、財政需要を見越した本当の財政状況の公表としては不足しているのでは。

答 財務情報を伝える工夫は重要。今以上に市民が関心を持てるよう、伝え方を見直していきたい。

### 【新しい公共の形成】

問 市民との協働が議論の中心であったが、これからは民間事業者等の協力も必要となる。市民協働推進課と各事業担当課をつなぎ、公民連携の推進を行う専門部署を設置しては。

答 今すぐには難しいが、民間活力導入の経験を積み、いずれはそうなると思う。

意見 民間活力の推進は早速取り組みなくてはならない課題。行政もNPOも市民も事業者もみんな考え解決できる、公民連携の新しい公共の構築を。





市民ネット宝塚 北野 聡子

### 15歳の春は泣かせないで

**【児童生徒のSNSの問題】**  
問 話し方や表情が伝わらないSNSでのトラブルは、仲間外れや無視から始まる集団いじめにつながる深刻な問題。本市の現状は。

答 SNS使用による友人間のトラブルはいくつかあり、保護者や教職員に啓発し未然防止に取り組んでいる。また、高校生スマホサミットの開催や生徒、保護者、教職員の三者でスマ

ホ使用のルールを作るなど自主的な動きもある。  
意見 自分たちの課題だからこそ友人への支援も可能。ピア・サポート（仲間同士の支援）の拡大を。

**【宝塚駅前の交通課題】**  
問 駅前ロータリーが再整備されたが、観光バスの停車場所整備が未解決では。

答 国道北側の側道に整備したが、国道からUターンする必要があり利用は少

ない。JR宝塚駅直近への観光バス停車が多く、一般交通への影響があると認識。  
意見 交通ルールに従ったスムーズな停車は必須。観光面からも早急な整備を。

**【公立高校の入試制度】**  
問 制度変更で行きたい学校より行ける学校を選択せざるを得ず、長時間通学や経済的負担等で、入学したものもの不登校や休学、中退してしまう生徒がいるが。

答 一人一人の希望を把握し、実現に向けきめ細やかな進路指導を行ってきた。今後も丁寧な指導に努める。

自ら避難するのが困難な避難行動要支援者に個人情報提供の同意確認を行っている。今後、同意のあった方

### 犯罪抑止力をあげる工夫を



新風改革・維新の会 たけした 正彦

#### 【防犯カメラの設置】

問 今年度の設置補助申請は5団体で6基しかない。応募が少ない根本原因は。

答 設置費用の一部補助事業であり、設置後の維持コストも地域負担であることが影響していると考える。監視社会に不安を抱える市民も存在し、設置は多様な意見を聞きながら丁寧に進めることが大事と考える。

**【災害時の要支援者対応】**  
問 本市の避難行動要支援者リスト整備の進捗は。

答 先般、第5地区で避難支援組織が立ち上がり、



自民党議員団 富川晃太郎

### 固定資産税の課税誤り

**【固定資産税の課税状況】**  
問 都市計画道路予定地の土地所有者に対する固定資産税の課税状況は。

答 建築制限による土地価格への影響を考慮し、課税は、固定資産評価基準に基づき市が定める土地評価実施要領に規定する補正率を適用しているが、本年度の課税での補正率の適用状況の検証で14路線254件の課税誤りが判明した。該

当者には速やかに土地評価額を修正し過誤納金や還付加算金等を算定し還付する。

問 課税誤りの原因は。

答 他部局との連携不足によるチェック漏れと認識。  
問 誤納付者に対して還付は何年度まで遡るのか。

### 子どもたちの体力向上を



新風改革・維新の会 若江まさし

#### 【児童生徒の体力】

問 全国平均と比べ本市の児童生徒の体力の現状は。

答 過去からの推移では、小・中学校ともに筋力、柔軟性、持久力は徐々に伸びてきているが、全国平均に比較すると課題が見られる。

**【中学校の武道場の充実】**  
問 武道場の整備状況は。

答 現在、設置済は6校。今後、設置を計画しているのは4校。残る2校は引き続き整備方法を検討する。

詫びする気持ちに変わりはないが、過誤納金は地方税法や市要綱の規定に沿って還付するため、最長の20年以上を遡ることは困難。  
意見 100%市側の誤りと感じる。道義的にも該当する方に全て返すべき。

**【幼稚園保育室の冷房化】**  
問 なぜ幼稚園保育室は冷房化が進んでいないのか。

答 体温調整機能を高めるため自然な環境下で保育活動を実施してきたが、預かり保育の開始や熱中症の危険性の高まり等から、今後エアコン設置に取り組む。

答 市は宝塚のお土産コーナー設置や本市の文化や歴史等を紹介するイベント、店内での宝塚産食材の活用等、運営事業者のコンセプトやビジョンの具体化に関与。今後も関係者との連携を深め、本市の魅力の情報を発信と地域活性化に努める。

**【仮称宝塚サービスエリア】**  
問 サービスエリア内で

答 サービスエリア内でペットと家族がともに過ごせる空間の整備も要望。



## 民間力を活用し魅力発信を

公明党議員団 藤岡 和枝

【宝塚ならではの地方創生】

問 チームだからづかの課題と今後は。

答 チームでの経験の活用が課題。今後は組織づくりや施策の実行面で生かす方法を検討したい。

問 地方創生における民間力の取り入れ方は。

答 街の活力の維持・発展に重要な定住人口、交流人口の増加のため、市の魅力発信における民間力の効

果的活用を検討する。

問 行政が不得手とする広報・観光部門における情報発信力強化のため、民間との人事交流が有効では。

答 他市の実施例も研究し、今後検討したい。

【地域包括ケアシステム】

問 退院後の在宅医療・介護相談窓口設置の考えは。

答 医療・介護の専門職が連携し、退院に向け準備する体制が地域包括ケアシ

ステム。市民と専門職をつなぐ相談窓口も検討したい。

問 市立病院における療養病床や回復期リハビリ病棟整備の考えは。

答 市内に見合った機能の病院がなく、市外に出る現状もある。今後議論を深め、市立病院が本来に果たすべき役割を見出したい。

【健やかな育ちを支える】

問 就学前から就学後まで、子どもの成長に合わせた一貫した発達支援ができる中核機関の整備が必要では。

答 先進市の取組状況を調査し、十分検討したい。



## 公民館を支える人材育成を

市民ネット宝塚 寺本 早苗

【歌劇のまちのにぎわい創出】

問 宝塚ホテル移転を商業活性化の好機として取り組む機運も。課題の認識は。

答 課題として跡地利用計画や周辺の交通問題等を認識。地域住民や関係団体と情報を共有、意見聴取しながら課題対応に取り組み

問 歌劇と湯のまち宝塚のにぎわい創出に、文化行政との連携は不可欠では。

答 単なる学習機会の提供ではなく、地域課題の解

答 文化・観光の拠点として、本市の良好なイメージの基礎となったエリアと認識。宝塚らしさが失われ

まいづくりに努める。

【社会教育の充実発展】

問 社会教育のあり方は。

答 単なる学習機会の提供ではなく、地域課題の解

決やまちづくりを担う人材育成の重要な要素と位置づけている。

問 公民館の指定管理移行への考えは。

答 専門職員の不足や高齢化により後継者育成が困難。今後は指定管理移行も選択肢として調査研究する。

問 指定管理導入には担当課に今以上の力量が必要。

答 認識が甘かった。今後職員の計画的育成を検討。意見 新中央公民館をつくる今こそチャンス。設計段階から市民を巻き込み、人づくりを。



## 給与、報酬の適正化を

新風改革・維新の会 大川 裕之

【給与の適正化】

問 公務員の給与は、責任等に応じ決まる職務給としているが、現在も多くの職員で給料と役職の逆転現象が起きている。年功序列型の昇給構造に問題があり、抜本的な改善が必要。今後早急に改善していく意志はあるのか。

答 正規職員については本年度から給与制度の総合の見直しを実施。55歳昇給

停止など、国と違う点は課題と認識し、逆転現象の縮小に向け検討していく。

問 責任に違いのない非常勤嘱託職員に報酬表があるのは本来おかしい。また、退職前年収は阪神間平均の2倍となり適正と言えるか。

答 市民への安定したサービス確保や非正規雇用の賃金格差是正のため、人材確保の観点や正規職員との均衡等も考慮し報酬額を決

定している。来年度には正規職員の改定に準じ報酬の引き下げ改定を行う予定。

【市有財産の有効活用】

問 賃借料の決定方法は。固定資産税評価額や相続税路線価等に基づき相手方と協議し決定している。

意見 現在の賃借料は相場から見ても安すぎる。一度考え直す必要があるのでは。



## 教員の防災研修の充実を

新風改革・維新の会 浅谷 亜紀

【たからづか食育推進計画】

問 新計画策定にあたり現計画をどう総括するのか。

答 市民調査では食育の意味を知る人は61・5%。関係団体などとともに周知実践に取り組み必要がある。

問 三田市では関係団体で構成する推進研修会を市民参画に位置づけているが。

答 市民への啓発は重要であり、こういう組織を作

意見 さまざまな知識や経験をもち市民団体の知恵を借りて推進するとともに、市民団体への支援も必要。

【地域の稼ぐ力を創る】

問 宝塚の地域経済を成長させるための戦略は。

答 本市は県下平均に比べ製造業の比率が低く、医療・福祉・宿泊・飲食サービス業の割合が高い。観光や商工業業それぞれの魅力を生かし連携させ、新たな

魅力をつくり発信できるような戦略を策定する。

【命を守る学校防災教育】

問 各学校での防災教育は実効性があるのか。

答 各学校では年間指導計画に位置づけ、県の副読本を活用。地震、土砂災害や火事などあらゆる災害を想定した避難訓練を計画的に実施し災害に備えている。意見 防災教育に多くの時間をとれる状況にはないが、朝のホームルームでもに話すことはできる。教員の防災教育への認識を高めるため研修の充実を。



### 地方創生は市民との協働で

公明党議員団 中野 正

#### 【道路など補修の通報】

問 浜松市ではスマホを活用した通報システムを導入している。本市の考えは。

答 補修箇所の迅速な確認、対応は必要。導入について検討を進める。

#### 【高齢者の社会的孤立解消】

問 足立区では条例を根拠に情報を住民に提供し孤立ゼロに取り組んでいるが。

答 本市も審議会の承認を得て民生委員に情報提供

#### 【高年齢者の社会的孤立解消】

問 足立区では条例を根拠に情報を住民に提供し孤立ゼロに取り組んでいるが。

答 本市も審議会の承認を得て民生委員に情報提供

#### 【高年齢者の社会的孤立解消】

問 足立区では条例を根拠に情報を住民に提供し孤立ゼロに取り組んでいるが。

答 本市も審議会の承認を得て民生委員に情報提供

#### 【高年齢者の社会的孤立解消】

問 足立区では条例を根拠に情報を住民に提供し孤立ゼロに取り組んでいるが。

答 本市も審議会の承認を得て民生委員に情報提供

#### 【高年齢者の社会的孤立解消】

問 足立区では条例を根拠に情報を住民に提供し孤立ゼロに取り組んでいるが。

答 本市も審議会の承認を得て民生委員に情報提供

### 差別解消法への体制整備を

ともに生きる市民の会 井上 聖

#### 【障害者スポーツ推進】

問 関係団体の中から、宝塚市障害者スポーツ協会設立の動きがある。市の支援が必要と考えるが対応は。

答 国の有識者会議や先進市の事業を参考に、協会や障害者スポーツの普及促進に向けた支援を推進する。

#### 【障害者差別解消法】

問 法に基づく対応要領に対する市の取組状況は。

答 国の対応要領案を参照し、職員が遵守すべき職務規律の一環として来年度までに作成、周知する。

#### 【障害者差別解消法】

問 法に基づく対応要領に対する市の取組状況は。

答 国の対応要領案を参照し、職員が遵守すべき職務規律の一環として来年度までに作成、周知する。

#### 【障害者差別解消法】

問 法に基づく対応要領に対する市の取組状況は。

答 国の対応要領案を参照し、職員が遵守すべき職務規律の一環として来年度までに作成、周知する。

#### 【障害者差別解消法】

問 法に基づく対応要領に対する市の取組状況は。

答 国の対応要領案を参照し、職員が遵守すべき職務規律の一環として来年度までに作成、周知する。

#### 【障害者差別解消法】

問 法に基づく対応要領に対する市の取組状況は。

答 国の対応要領案を参照し、職員が遵守すべき職務規律の一環として来年度までに作成、周知する。

トナーとなる市民や団体が必要。行政からアプローチし連携を進めていく。

#### 【道路占用許可の特例】

問 地域活性化に道路占用許可の特例は有効。どの部署が具体的に進めるのか。

答 地域から提案があれば、産業文化部と関係部署が連携し丁寧に対応する。

#### 【公共交通】

問 デマンド型交通を含めた公共交通のあり方は。

答 山手地域に適合する有効な交通形態を検討する。意見 先進市では公共交通施策は優先度が高い。

#### 【公共交通】

問 デマンド型交通を含めた公共交通のあり方は。

答 山手地域に適合する有効な交通形態を検討する。意見 先進市では公共交通施策は優先度が高い。

#### 【公共交通】

問 デマンド型交通を含めた公共交通のあり方は。

答 山手地域に適合する有効な交通形態を検討する。意見 先進市では公共交通施策は優先度が高い。

#### 【公共交通】

問 デマンド型交通を含めた公共交通のあり方は。

答 山手地域に適合する有効な交通形態を検討する。意見 先進市では公共交通施策は優先度が高い。

#### 【公共交通】

問 デマンド型交通を含めた公共交通のあり方は。

答 山手地域に適合する有効な交通形態を検討する。意見 先進市では公共交通施策は優先度が高い。

#### 【公共交通】

問 デマンド型交通を含めた公共交通のあり方は。

答 山手地域に適合する有効な交通形態を検討する。意見 先進市では公共交通施策は優先度が高い。



### 条例の不作為はいけない

安全で誇れる宝塚をつくる会 北山 照昭

#### 【まちづくりに防災の視点】

問 土砂災害警戒区域の宅地危険箇所現地踏査報告書で指摘されたコメントに基づき中山台ニュータウン内の現場を実際に見たが、市はどう判断しているのか。

答 現地確認を行ったところ、災害発生のおそれはあるが被害が及ぶ可能性は低い。今後も継続的に点検監視を行い、対策を図る。意見 コメントは非常に

#### 【生活道路の整備】

問 狭隘道路の整備はまだ4・9%しかされていない。平成21年以降財政健全化を理由に予算がカットされている。震災の教訓を忘れ、条例を無視した不作為の状態であり、早急に条例どおり整備してほしいが。

答 生活道路整備の重要な

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

### 自宅避難者カードの整備を

公明党議員団 二宅 浩二

#### 【介護保険住宅改修制度】

問 受領委任払い制度について、宝塚市は他市に比べ事業者への支払いが遅いとの指摘があるが、実際は。

答 適切な工事内容であるか等、審査に時間を要している。スピード化を図り、支払期間の短縮化に努める。意見 本人や家族が住宅改修を検討する場合、市ホームページの内容は不親切。把握には、指定避難所に周

#### 【届出避難所について】

問 届出避難所制度とは。

答 突発的な災害の危険性が高まった場合の、住民による自主的な避難所開設、運営支援のため、自治会館を届出避難所として登録し、毛布、非常食を提供予定。自主的な開設後、指定避難所を開設した場合も、引き続き利用可能と考えている。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。意見 請願は、市民が行

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。

性はよく認識しているが、厳しい財政状況のためここ数年土地取得分が確保できなかった。今後条例の趣旨を生かしていけるよう、しっかりと取り組んでいく。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

#### 【中山台地域の高齢化】

問 地域包括支援センターの設置区域は厚労省では中学校区単位のようなが、将来を見通し、高齢化の進む中山台ニュータウンの中にも設置してほしい。

答 地域包括ケアシステムの構築に合わせ、センター設置や機能のあり方について検討していきたい。

辺の自宅避難者カードなどの整備が必要では。

答 自宅避難者には情報が届かず、不便が想定されている。自宅避難者カードについてしっかりと位置付けを取り組む。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。

#### 【小浜工房館の防音工事】

問 請願採択後の状況は。

答 小規模な工事では完全な防音は困難であり、利用団体と周辺住民との十分な話し合いと相互理解が不可欠と考えている。



## 最低限度の生活の保障を

日本共産党  
宝塚市議員 となき正勝

### 【社会保障施策の充実を】

問 国保では、受診抑制につながる資格証の発行はしていない。介護保険の給付制限措置である3割負担はサービス抑制ではないか。

答 減免分は他の被保険者の保険料で賄うことになり、慎重に検討したい。

### 【人権問題を考える】

問 これまで同和問題を中心に人権に取り組んできたことを理由に、特別視しているようで違和感がある。

答 同和問題以外の人権問題も大変重要という認識は同じ。

すべて同列に扱うべきでは

問 性的マイノリティに対する認識や理解の不足が社会の中にある。方策は。

答 学校図書館等に関連書籍を配備。今後も研修等を実施し、性的マイノリティの子どものサポート体制を築いていきたい。

意見 社会保障も人権も、人が当たり前に最低限度の生活をし、生きていくということ。不当な扱いを受けることがあってはならない。



## 実態のある高齢者施策を

新風改革・維新の会  
岩佐 将志

### 【地域包括ケアシステム】

問 地域包括ケアシステムの構築は急務と考えるが、具体的施策や目標値設定は。

答 ゴールドプラン21宝塚には記載していないが、2025年までの今後10年間で、事業実績や進捗にあわせて内容を明確化したい。

### 【認知症予防の取り組み】

問 認知症や予備軍といわれる方々が、地域で安心して暮らせる環境整備が必要。市の認知症予防施策及び

び支援施策の現状と効果は。

答 認知症への理解や早期診断・早期対応につながるよう、フォーラムによる啓発や、地域で見守る応援者となる認知症サポーター養成講座を実施。認知症カフェの設置や早期診断・早期治療が可能な相談体制等の居場所や交流の場を持つことで、不安解消や安らぎを得られるなどの心理的効果を狙う。将来的には認知症ケアパスを構築し、住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会をめざす。



## 教育環境の適正化

自民党議員団  
大河内茂太

### 【過大・過小規模校対策】

問 学校規模適正化につき、市の認識と取り組みは。

答 適正化の手法や考え方は素案にまとめた。将来的には基本方針を作りたい。

問 小中一貫校の考えは。

答 小中連携の成果も踏まえ具体的に検討していく。

問 学校施設は本市建物施設の45・5%を占め、公共施設マネジメントの最大の課題。市全体で連携を。

答 学校施設再編にあたっては、教育目的以外にも地域に開かれた施設となるよう、地域の理解を得ながら、新たな活用策を図る。

### 【コミュニティ・スクール】

問 学校運営への地域や保護者の参画により、三鷹市では学力調査結果が10ポイント向上し、不登校出現率が半減する効果があった。

答 密接に情報共有を図り、これ以上広がらないよう、適切に対応していく。

の情報共有を進め、モデル校の指定も考えていきたい。

### 【地域猫活動の推進】

問 予算不足については。答 避妊去勢手術費助成等予算のあり方を検討する。

問 活動を広げるため、告知も積極的に行うべき。

答 地域の理解のため、分かりやすく周知していく。

### 【ナラ枯れ被害】

問 ナラ枯れは第二の松くい虫で景観を大きく破壊する。県と連携し、対応を。



## 高齢者の社会的貧困を防げ

ともに生きる市民の会  
大島淡紅子

### 【マイナンバー制度】

問 市の関連情報システムに係る総経費と市負担は。

答 総額約4億5千万円。うち3億円が市の負担。

問 制度導入による市の効果額をどう見ているか。

答 国は効果額を示しておらず認識していない状況。

問 番号制度を先行的に導入している国はあるか。

答 アメリカなど日本の制度に相当するものはある

が、詳細は把握していない。

問 全員強制、官民共通利用の制度は他国にはない。課題があるとの認識は。

答 個人情報保護の観点から慎重な検討が必要。

### 【高齢者の貧困問題】

問 生活保護規準相当やそのおそれがある高齢者は全国で600万人以上だが、10年後、総老後崩壊家庭に

ならないため市ができることとは。

答 生活困窮者支援制度の周知と市民へ出向していくアウトリーチの早期支援を実施し、社会的に孤立した高齢者等を支援する。

問 高齢者の貧困を防ぐには、家賃補助や賃貸の空き家を活用したみなし公営住宅制度が必要。本市に無料低額宿泊所などはあるか。

答 そういうものはないと認識している。

意見 高齢者をお荷物と

# 議会研修会

10月5日、宝塚市議会は全員で新名神高速道路の整備状況を現地視察しました。この道路は平成28年度の開通をめざし、市北部の西谷地域で整備が進められているものです。

今回はNEXCO西日本職員の内、現場を視察しました。

サービスエリア、スマートインターチェンジ

約400万立方メートルの大規模な盛土工事により敷地を整備中で、進捗率は7割。大型の建設機械が縦横に動き回っていました。神戸市、川西市、猪名川町域の工事で発生した切土やトンネル工事の残土を、



坊川第三橋の工事現場

ダンブカーやベルトコンベヤーで運んで使用しており、環境に配慮した工事となっています。

## 橋梁、トンネル

この道路は主に山中を通過するため、県内の延長約20キロメートルのうち、橋梁とトンネルがおおよそ半分を占めています。

橋梁工事では、やじろべえのように、橋脚から両側

に橋面を張り出していく形で建設を進めています。

トンネル工事現場では、宝塚市から猪名川町に向かつて掘削工事が進められている様子を視察しました。

建設現場を間近に見て、プロジェクトの壮大さを実感するとともに、完成を待ち望む気持ちが高まりました。

この道路が、宝塚市全域及び隣接する北摂地域のまちづくりには大きな役割を果たすものと期待しております。

市議会としましては、西谷の自然や、温泉、歌劇などの資源と連携を強化しながら宝塚の魅力を最大限に発信し、地域活性化に取り組んでいく所存です。

(石倉)

# 総務常任委員会

7月27日、28日に、沖縄県浦添(うらそえ)市、那覇(なは)市、糸満(いとまん)市を視察しました。

## 7月27日 浦添市

浦添市では、IT政策、第五次総合行政システム、同システムによる地場産業育成について視察しました。



浦添市でIT政策を学ぶ

業務プロセスの見直しによる処理手順や時間の節約、総合データベースによる横断的な業務処理、ユーザ認証、アクセス権管理等の一括処理をしております。

者に対しても改版権の権利を譲渡して地場産業の実現をめざしています。

7月28日 那覇市

那覇市では、第4次経営改革アクションプランについて視察しました。

一行の取り組みとして事務事業の見直し、アウトソーシングの推進、財政健全化を目的にそれぞれ目標を数値化して達成率などを明確にしながらか推進しています。

## 7月28日 糸満市

糸満市では、平和施策について視察しました。

毎年6月17日から6月23日の慰霊の日までの1週間を平和週間とし、その中で行われている平和祈念祭は第20回になっています。

平和ガイド育成事業は、体験談を継承していくために小中学生や一般の人を対象に学習を行っています。

地元の体験談だけでなく、太平洋戦争の全体を知るために広島、長崎や鹿児島知覧特攻平和資料館、多くの住民が集団自決した渡嘉敷村にも行って学んでいます。

また、平和の語り部育成事業として、平和講演会、コンサート、戦争体験講和朗読などの取り組みも行っています。これらの事業は、地方創生一括交付金やふるさと応援寄付金などが活用されています。(となき)

# 文教生活常任委員会

8月3日、4日に東京都八王子(はちおうじ)市と長野県松本(まつもと)市を視察しました。

## 8月3日 八王子市

八王子市では、障がい者に対する市民及び事業者の理解を深め、障がい者の差別をなくすための取り組みを推進するため「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」が策定されています。

この条例のスタートは市民運動であり、当事者、保護者、市民の意見交換会20回を経て、条例案が作成され市議会請願採択へとつながりました。当事者の体験をベースにみんなと一緒に考えながら作った仕組みと

を推進するため「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」が策定されています。



八王子市の取り組みを聞く

という点が秀逸です。またガイドブックは誰もが使いやすいように文字にルビが打たれ、SPコードを読み取ると音声で内容を聴くことができ、虐待・差別に関する相談先も整っています。本市取り組みの参考にしていきたいです。

## 8月4日 松本市

長野県松本市は、三千年

級の高峰に囲まれ、自然豊かな所です。農業、林業、観光産業が栄えています。松本市の菅谷市長は元お医者様で、1986年のチエルノブイリ原発事故直後から現地へ入り、甲状腺の手術など実績を上げてこられました。

松本市では世代に関係なく子どもからお年寄りまで健康に対する施策が充実しています。一例ですが「認知症予防対策事業」としてフィットネスクラブなどと連携して「脳活ポイントプログラム」を実施するなど民間との連携もうまくいっています。

宝塚市でも、松本市などの他市事例も参考に健康づくりを推進し、健康寿命を伸ばすことが大切です。(若江)

# 報告



宝塚市議会では、市議会の調査・研究活動の一環として、市内の調査や、他の自治体で取り組まれている先進的な事例を調査し、市への提案につなげています。また、姉妹都市である松江市と定期的に

交流を図り、災害時などに備えた連携の強化に努めています。

今回は、7月～10月に行われた、議会研修会、議員交流研修会、常任委員会の視察の概要をご紹介します。

# 議員交流研修会

8月21日・22日の両日、本市議会議員24名が島根県松江(まつえ)市を訪問し、松江市議会議員との交流研修会を開催しました。

宝塚市と松江市は、昭和42年の姉妹都市提携以来、スポーツ、文化、観光、教育等の幅広い分野で交流を続けています。両市議会の交流も昭和45年から始まり、近年では、おおむね2年ごとにお互いの市を訪問し、議会改革等に切磋琢磨しております。

今回の研修会では、5月に国宝に指定されたばかりの松江城を見学し、その歴史的な意義や、国宝指定に至るまでの取り組みなどに



両市の議員がともに研修

ついて講義を受けました。その後、松江観光協会の観光文化プロデューサーを務める高橋一清氏による「このまちの魅力」と題した講演会を聴講しました。

高橋氏は、文藝春秋で編集長などを歴任された方で、その経験を生かし、数多くの文学作品の中に現れる「松江」の姿を紹介してい

ただきました。

「水の都」「神話のまち」「松平不味公ゆかりの城下町」として多彩な魅力を持つ松江が、多くの文学者から愛され、作品の中に描かれてきたことを、改めて認識しました。

翌日は、隣市の安来市にある安来節演芸館、足立美術館にご案内いただきました。足立美術館の庭園は、三大植木産地である宝塚市にも同様の施設ができないものかと羨望するほど感動的なものでした。

文学作品に出てくる松江のまちを観光資源として活用する手法など、宝塚市が見習うべき点も多々あり、学ぶところの多い研修会でした。(伊福)

# 産業建設常任委員会

7月27日、28日に東京都府中(ふちゅう)市と石川県金沢(かなざわ)市を視察しました。

## 7月27日 府中市

インフラの更新費用の増大や、今後予測される歳入の減少の中で、いかに限られた財源で公共施設設備を維持させることができるかという問題は、宝塚市を含め全国的な大きな問題です。

府中市では、公共施設マネジメントとインフラマネジメントをそれぞれ定めており、インフラマネジメントとして、特に道路・橋梁・公園等を別で定めていることと、「道路包括管理委託」と題した、道路管理を

民間に委託する仕組みは大変珍しい取り組みですので、これらが全国に波及していくかどうかは、府中市の取り組みが参考になると考えられます。

宝塚市でも導入できるかどうか、今後調査を進めて参りたいと思います。

## 7月28日 金沢市

世界の「交流拠点都市金沢」をめざして

北陸新幹線開業に伴い、金沢を訪れる観光客が増加。金沢の目指すべき都市像「世界の『交流拠点都市金沢』をめざして」の理念は「責任と誇りを持ってまち

市民、民間、学校も歴史に対しての誇りと矜持を持ち、おもてなしの心で訪れる人

に接することで、相乗効果を起こしている。金沢21世紀美術館 伝統とは単に過去の形式を踏襲するものではなく、「革新の営み」により、新たな価値を創造するものと、企画力に優れた展覧会や多彩な交流プログラムで、戦略的な広報・啓発活動の促進に取り組んでいる。(中野)



21世紀美術館の戦略的広報とは

# 議会報告会

◆ご参加ありがとうございました

7月25日(土)、26日(日)の2日間、議会報告会を開催し、全議員が市内2会場に分かれ、市民の皆さまに6月定例会の審議結果と概要を報告しました。

各会場では、マイナプラン制度や病院事業、観光施策などについてさまざまな質問、ご意見をいただきました。



また、議会報告会のあり方についても、ご意見をいただきました。

◆ご来場を

お待ちしております

今回の議会報告会は、決算特別委員会の審査と、9月定例会、12月定例会の議案審査の内容から、議員がピックアップして報告します。

ぜひ、会場へお越しください。皆さまのご来場をお待ちしています。

## 次回の議会報告会

- ◆ 1月15日(金)午後7時～8時45分  
男女共同参画センター 学習交流室1 A・B
- ◆ 1月16日(土)午前10時～正午  
西公民館 3階 セミナー室

# 傍聴について

市議会の本会議や委員会是一般に公開されており、受付簿に氏名などをご記入いただくだけで、どなたでも傍聴いただけます。

■本会議場

傍聴席は84席(内、車いす席2席、磁気ループ席26席)。介助犬の同伴も可能です。

■委員会室

傍聴席は10席程度。満席の場合は、音声情報のみを提供している別室にご案内することがあります。

■12月定例会開催中

現在、11月11日から12月18日までの38日間の会期で12月定例会を開催中です。今後の日程は下記のとおりです。

議員の活動や市政の動向等を知っていただくよい機会でもありますので、ぜひ傍聴にお越しください。



■今後の予定

12月							
18日	17日	16日	11日	10日	9日	8日	7日
金 本会議(予備日)	木 本会議	水 議会運営委員会	金 本会議(一般質問予備日)	木	水 本会議(一般質問)	火	月 議会運営委員会

# 編集後記

◆2014年に制定された「歌劇のまち宝塚条例」は、市、市民及び市内の事業者が一体となって、「歌劇のまち宝塚」ならでのまちづくりを進めることを目的としたものです。表紙掲載のモニユメント像は、今後宝塚市の象徴となつてくれるでしょう。(岩佐)

◆憲法では知る権利と表現の自由が保障されています。「かけはし」は、議会の動きをお知らせすることとあわせて、議員個人の一般質問を掲載することで多種多様な考えを紹介しています。皆さんにどうお伝えするか? 今後とも努力していきたいと思えます。(となき)

※次号は、平成28年2月1日発行予定です。

議会報「かけはし」は、すべての世帯と事業所のポストに宅配でお届けしています。発行日を過ぎて届かない場合は、ご連絡ください。

ジャパンメッセージサービス(株)  
フリーダイヤル  
0120-240-324  
(9時～19時まで)

# 市議会の情報はFM放送・インターネット・Facebookで

◆FM宝塚 83.5MHz

毎週2回(月・木)12時25分から5分間、市議会のお知らせをしています。

各議員の一般質問(録音)なども放送しています。放送予定は、市議会ホームページでご確認ください。

◆インターネット

市議会ホームページでは、会議日程や議案審査の結果、本会議の映像(インターネット中継・録画配信)等をご覧いただけます。

本会議や委員会の会議録検索もできます。

◆Facebook

本会議や委員会の開催日程や、市議会主催イベントの情報などをお知らせしています。

宝塚市議会 で検索

# 第3回 発言者募集!! 意見交換会

第3回意見交換会の市民発言者を募集します。詳細は本誌3面へ。また、第2回の概要も、2/3面に掲載しています。ぜひ、ご一読ください。